（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和2年度　学校自己評価システムシート（埼玉県立久喜工業高等学校）

目指す学校像	「ものづくり」や「体験」を通して「技術」・「学力」を身につけ、地域の信頼と期待に応え社会の変化に対応できる人財を育成する学校

重点目標	1 個に応じた学力と技術力の向上を推進する。 授業態度の確立を図る。授業内容の充実を図る。資格取得等を奨励する。 2 基本的生活習慣の確立と向上を推進する。 欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装、頭髪指導の徹底を図る。挨拶と正しい言葉遣いの励行を図る。 3 個々の生徒に応じた進路指導を充実させる。 生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。 4 地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。 中学生やその保護者に積極的な情報提供を行う。小学校との交流及び地域の行事等への参加する。

※ 重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度		
A	ほぼ達成	（8割以上）
B	概ね達成	（6割以上）
C	変化の兆し	（4割以上）
D	不十分	（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価							学校関係者評価
年度目標				年度評価（　月　日現在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 ・生徒は授業に取り組む姿勢は良好であり、アンケートでは意欲的に学習に取り組んでいる割合は生徒全体の70%程度である。基礎学力の向上と自ら学ぶ姿勢が定着しつつある。	・基礎学力の定着と発展的な学習への対応を実現する。	①各学年、定期的に教科及び分掌と連絡会を開催し情報共有を図り個に応じた丁寧な指導を実現する。	①アンケートにおいて生徒の授業内容に対する興味関心と授業理解の項目とについて75%以上の肯定的評価を得られたか。				
	【課題】 ・生徒アンケートにおいて授業内容に対する興味関心が全体の70%程度で今以上の学習意欲向上のために授業内容に対する興味関心を高めることが課題である。	・幅広い知識・技術（資格取得を含む）の修得を図る。	①資格取得や大会等に必要な知識技術と授業の関連性を持たせ、目的意識の向上につなげる。NIEや外部講師を活用して生徒の職業意識を高める。	①「授業は興味関心を得られるように工夫されている」のアンケート項目に関して75%以上の肯定的評価を得られたか。技能検定合格者数を平成30年度比で増加させる。成績不振科目数の前年比減にできたか。				
2	【現状】 ・基本的な生活習慣確立のため、年度を継続して遅刻数減少の指導に注力している。その結果、昨年度の遅刻総数は前年比５％減少した。大多数の生徒は、学校生活において望ましい習慣と態度が身についている。また、昨年度の問題行動は前年比50%減少するとともに、退学および進路変更者数は前年比33%減少しているが、１年生の占める割合が多い。	・基本的生活習慣確立のための遅刻指導や挨拶指導を重点的に継続する。	①遅刻指導を年間８週以上実施する。 （遅刻カードの活用） ②挨拶指導、登下校指導、巡回指導を年間８週以上実施する。 ③自転車の交通安全教室、自転車点検を実施する。	①遅刻数の減少傾向を維持できたか。生徒アンケートで『久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる』と回答した生徒を90%以上にできたか。 ②挨拶できる生徒、身だしなみが整っている生徒が増加できたか。 ③自転車をはじめとする交通事故が減少できたか。				
	【課題】 ・各学年と連携を図りながら指導を徹底し、遅刻数減少の傾向を維持する。 ・入学直後より規律の遵守や問題行動の未然防止について、教職員全体できめ細かい指導を計画的に実施することが課題である。	・問題行動を起こさせない、退学および進路変更者を出さない指導を充実させる。	①身だしなみ指導を年間５回以上実施する。 ②生徒対象のいじめアンケートを実施する。 ③生徒対象の講習会（非行防止・薬物乱用防止、いじめ・SNS関連）を実施する。 ④教職員対象の研修会（特別支援教育、発達障害に関する研修）や教育相談を定期的に実施する。	①生徒アンケートで『久喜工高は服装・頭髪などにきちんと指導を行っている』と回答した生徒を90%以上にできたか。 ②いじめ案件が昨年より減少できたか。 ③問題行動（指導件数）が前年比５％以上減少できたか。 ④教職員対象の研修会の内容が充実し、研修後に新たな教育活動が実践できたか。退学および進路変更者数が前年度比５％以上減少できたか。				
3	【現状】 ・進路未定者を出さないため、計画的なキャリア教育を実践している。その結果9年連続就職率・進学率100%を達成している。	・就職率・進学率100%を実現する。	①企業との情報交換会へ積極的に参加して情報収集を推進する。 ②進路指導部と第３学年の連携を強化し情報を共有する。	①新規開拓した企業が昨年より増加したか ②生徒アンケートで『進路決定にむけて、生徒の希望や保護者の期待に応えている』と回答した生徒を８０％以上を達成できたか。				
	【課題】 ・進路意識の希薄に起因した、一部の生徒が進路決定に時間を要している。そのため、入学当初からの学年と協力した計画的な進路指導を行うことが課題である。	・5年連続で就職試験１回目の合格率を 80%を継続させる。	①求人企業との面談の質を高めて生徒へ適切な情報提供を行う。 ②キャリアパスポートを活用し、三年間を見通した計画的なキャリア教育を実践する。	①求人件数を維持して生徒の選択肢を確保できたか。 ②各学期において全学年でキャリアパスポートを活用したか。３年生は進路対策に向けた面接指導が５回以上実施できたか。				
4	【現状】 ・新設２年目となる広報部が生徒募集行事（学校説明会、体験入学等）の企画運営を行っている。令和元年度入試においては、定員を満たすことができたが、先行きは不透明である。	・情報発信を積極的に行い、本校への理解を深めていただくと共に、入学志願者を確保する。	①学校のHPや学校案内、チラシを活用し、日頃の教育活動について情報を発信する。 ②学校ＰＲ資料「久喜工だより」を各学期ごとに作成し、中学生に向けて配布する。 ③中学校への出前授業を積極的に実施する。 ④学校説明会は各回ごとにテーマを決めて計画的に実施する。	①学校のHPを頻繁に更新し、HPへのアクセス回数が昨年度より増加できたか。 ②学校ＰＲ資料「久喜工だより」を各学期ごとに作成し、中学生に向けて配布できたか。 ③中学校への出前授業を全学科参加により、積極的に実施できたか。 ④学校説明会を各回ごとにテーマを決めて計画的に実施できたか。				
	【課題】 ・本校の日頃の教育活動の特色である実習を中心としたカリキュラムや進路指導などの結果を中学生や保護者、地域住民に対して、あらゆる手段を活用し継続的に幅広く発信する必要がある。また、地域の各種イベントや行事等に積極的に参加し、情報発信するとともに、地域に根ざした高校として貢献していくことが課題である。	・様々なイベントや行事等に積極的に参加し、地域に根ざした高校として貢献する。	①地域のイベントや行事および、小中学校や児童センターとの交流事業を継続して実施し、年間15回以上の対外的な活動を実施する。	①地域のイベント・行事および、小中学校や児童センターとの交流事業を継続して実施し、年間15回以上の活動を実施できたか。生徒アンケートで「久喜工は、地域から良い学校だと評価されている」と回答した生徒が70%以上できたか。				